



三代目
タツジです!

今回の「伝える、知る、やってみる」の伝えるファンディングは
誰でもすぐ出来て実は奥の深いメモのお話。
『ポストイット日記』 わちやまさんです♪

つたつた

西島さんからポストイット・メモ生活について書くようにおおせつかりました。
通訳・翻訳・もの書きの脇山です。

職業柄、メモなしには生きていられないような毎日です。記事を書くには人の話を聞いてメモ
をとり、調べものをしてはメモをとり、散歩中に目についたものが役に立ちそうならメモをとり...



『ここは、イタリアの遊園地?』

通訳をする時には話者の言うことを超スピードで
メモをとり...何でもは、と思ったらメモをとり...

15年前ひとり暮らしをしていたイタリアのアパートは
トイレとベットルーム以外は壁がメモと付せんで
いっぱいでした。

「5年目は細く長く」とか他人が読んでもわから
ないようなマイ標語もあり、イタリア語の動詞を

並べたものもあり、「平成は18足す」など西暦と

平成の変換覚えなども仕事柄の脇山に貼ってありました。

当時はポストイットだけでなく五色ブロックメモもよく使っていたので、カラフルな部屋になりました。
壁に色々なものが貼ってあるのは、保育園のようにも見えました。イタリア人の友人たちが
来ると「これはすごい」と遊園地に来たかのように喜ぶので入場料をとった方がいい
と思ったことも。次第に増殖するメモたちに押しつぶされそうになり、ある時そのアパート
は出ることにしました。壁からはずしたメモは捨てられずに、袋か何かに入れて次に住
んだ部屋の地下倉庫に放りこんだのです。

ある時から、色んな形の紙きれを壁にはるのをやめて、大中小のポストイットに統一
するようになりました。ひとつは他人の家に転がりこんだことで壁に自由にメモが
はれなくなったこと。もうひとつは...ポルトガルに引越し、付せんをまとめ買いすると
割引してくれる文房具屋さんが見つかったこと?

目的のある、行き場所のあるメモたちは整理がしやすい。「歴史」「ポルトガル関係」と
タイトルをつけたファイルにまとめていくなど...

問題は天かすにも細切れ肉にもならないような、こぼれたかすのような言葉や数字です。
例えば、ポルトガルのリスボンからベットタウンに
戻る夕方の電車の中で、ほとりの女性が見ていた
スマホの電卓の数字、5xx, xx(ごひゃく...).

裏面へつづく →

